

夢追人

太宰府中 第8号

明日に向かって走れ！

令和元年も、いよいよ終わりを迎えます。この1年間、あなたたちにとってどのような1年間だったでしょうか？新しい出会い、新しい発見、そして嬉しいこと、悲しいこと、成功したこと、失敗したことなどをこの1年間の『時』が刻まれる中で経験したのではないのでしょうか？中学生のあなたたちにとってこの1年間のどの経験も決して無駄ではありません。その一つ一つが自分自身を成長させる宝物です。

だからこそ、この1年間を終える今こそ、自分自身の1年間に矢印を向けてほしいと思います。そして、決して言い訳をすることなく自分自身をみつめることです。「あの時、失敗したのは、あの人がいけないんだ」、「お母さんが、あの時言ってくれなかったから・・・」、「先生がやれって言ったから・・・」などの言い訳は必要ありません。言い訳こそ自分自身の成長を止めてしまうものに過ぎません。だって心や行動の決定者はあなた自身なのですから。

自分自身に矢印を向けた時、初めて「自分はこうすべきだった」とか「よし、明日からはこんな生き方をしてみよう」など、自分のありのままを受け入れながら、明日を切り拓こうとする力が湧いてくるはずです。明日を生きていこうとする夢や目標が見えてくるはずです。

そのためにも『私はこの1年間、「何が出来なかったのか」よりも「何ができたのか』を考えていきましょう。

すると、結果は失敗に終わったとしても、その過程での自分自身の『小さな成功』が見えてきます。その『小さな成功』が明日を生きる自信を作ってくれるはずです。

そして、もう一つ、『私はこの1年間、「どうしてできなかったのか」よりも「どうしたらよかったのか』を考えていきましょう。すると、今度、同じ場面に出会った時の解決策がきっと見えてくるはずです。

このように自分の心の中をプラス志向にすることで、きっと明日が見えてきます。目標がみえてきます。

『夢は逃げない！自分が夢から逃げているだけ！夢は明日を切り拓くマスターキー』
でっかい夢をもち、そして日々の目標に向かって継続して行動していくことで、目の前にある扉が開くはず。たとえ扉が開かずとも、その努力は必ず来たるべき道で役立っていくはず・・・。

この1年の最後に、皆さんに、今年最後の問いかけをします。

『1年生の皆さん、あなたは、本物の中学生になれましたか？』

『2年生の皆さん、あなたは、学校のリーダーとして自覚と責任ある行動が出来ましたか？』

『3年生の皆さん、今、あなたは進路実現に向けて120%の努力を惜しんでいませんか？』

どうか自分自身のこの1年間の生活を振り返り、その答えを出してみてください。きっと同じ答えであっても、そこにたどりつくまでの過程は一人一人全然違っていると思います。そこに人間としての価値があると思うのです。一人一人の生きざまの違いが、何百通りの価値ある生き方を創っていくはずです。

『昨日の失敗を嘆くよりも、昨日の失敗を生かして明日を生きよう！』

令和二年も、全員で『未来に向かって明日を拓く太宰府中』を創りあげていきましょう・・・

令和二年二月八日(土)に実施される『第10回世界遺産学習全国サミット inなら』において、今年、十月二十二日に実施した太宰府中学校の『おもてなしプロジェクト』の活動について発表することが決定しました。太宰府中学生全員で作成した『おもてなしグッズ』やとびうめタイム『おもプロ講座』が考案した太宰府を巡るスタンプラリーの取組が高く評価された結果であると考えます。令和の里、太宰府をこれからも愛し、そして訪れるか方々へのおもてなしの心をいつでも発揮する太宰府中学生の素晴らしさを全国に発信したい思います。当日は、堀教頭先生と大塚先生が会場で、太宰府中学生の奮闘ぶりをポスターセッション方式で発表します。



太宰府魂

『夢追人』

学校だより『夢追人』のタイトルは、愛知県の至学館高校の校歌からこの言葉を使わせてもらっています。

校歌の詞がいつも心から離れられません・・・

「夢追人」(至学館高校校歌)

一番高い所に登って 一番光る 星を掴んだ

一番辛い 道を選んで 一番強い 心をまとった

海を渡る 風が吹いた カシオペアが 近くに見えた

夢を追い続けた そしてここまで来た

でもどうしてかな 熱い涙が止まらない うつむきかけた時 君の顔が見えた

差し出された白い腕が翼に見えた

いろんなことを経験したね あんまり先を 急がないでね

いろんな人にめぐり会えたね そんな旅なら 悪くはないさ

オリンポスの丘の上から 女神さまの 歌が聞こえた

夢を追い続ける もっと遠くへ行く

でもどうしてかな いつもみんなにいて欲しい 一番星よりも 夏の星座が好き

君がいれば夜を越えて銀河になれる